

<https://www.nittoseiko.co.jp/>

京都企業トップに聞く

堀場製作所社長

足立 正之氏



「自動車産業の動きをどう見えていますか。」

「これまでの急激な電気自動車(EV)シフトの流れは変わったが、EVの台数は世界的には増えるだろう。ただ、ハイブリッド車(HV)の開発向け排ガス計測システムなども好調で、エンジンが急に無くなることは考えられない。排ガス関連の装置は、規制対応だ

EV・HV装置開発に尽力

「以前からセグメントを超えて仕事をしたら面白いのではないかと準備してきた。顧客にも当社の製品を(点ではなく)面で見てもらえようになった。営業部隊が『新しいチャンス』を自由に取つてくれる」とやる気になっており、効果

「五つの事業セグメントを再編し、24年度から三つの注力分野での社会課題解決に向け、事業展開していきます。」

SCREENホールディングス社長

後藤 正人氏



「洗浄装置をはじめとする半導体製造装置の事業環境は、」

「(年初の)米国における新政権誕生以降、顧客が設備投資の時期を見直し、半年ほど見送られたモノもあった。ここに来て、ようやく混沌とした状況も落ち着きだし、今後は顧客の投資計画が具体化していくだろう。半導体の国産化を目的とした中国メーカーの引き合いも以前より落ちている。現地の装置メーカーも出てきているが、当社の洗浄装置が主戦場とする先端ロジック分野での優位性は保ったままだ。」

先進後工程の売上伸長

「(水電解装置向け部材などの)水素エネルギー関連は米新政権誕生以降、スローダウンした。ただ水素は化石燃料を代替するエネルギーの一つとして必要性は認識されており、計画がなくなったわけではない。先送りになった状況。また(細胞イメージングシステムなどの)ライフサイエンス関連の育成にも取り組んでいるが、時間がかかる分野だ。腰を据え肅々と進める」

「2025年の事業環境は、」

島津製作所社長

山本 靖則氏



「装置の設計・開発を顧客と一緒にできる施設で、検査会社や製薬会社と共同研究が始まっている。すでに顧客向けにカスタマイズして開発した質量分析計もあり、好調だ。今後は、すぐに結果が出てくる世の中の流れに立つテーマで共同開発ができるように、海外で当社の認知度を高める活

「中期経営計画最終年度力を入れた。費用が先行したため、営業利益面で課題が残るが、今後の業績につながるだろうと考えている。米国でR&Dセンターを作ったこともあり、次期中計では、ヘルスケア事業に力を入れるいきたい。」

将来に向けた土台作り

「以前から展開しているが、改めて力を入れていく。半導体製造工程では、使用する超純水やガスのモニタリングなどで分析需要がある。TMPのサービス体制も活用しながら、半導体製造工程向けにも装置の販売を拡大していきたい。」

「半導体製造装置向けターボ分子ポンプ(TMP)のビジネス網を活用し、半導体市場向けにも分析計測製品を展開する活動に力を入れています。」

ニチコン社長

森 克彦氏



「生成AI(人工知能)市場が急拡大しています。AIサーバー向けコンデンサーが昨年に引き続き好調で、売上高は年10%以上のペースで成長しています。電源用で当社のビジネスチャンスがあるとみて、特殊な製品を開発しており、2025年度の売り上げ寄与も想定している。ハイパワーカーが限られたスペースを見直しているのが現状。だが今後の市場拡大は間違いない。フィルムコンデンサーなどの需要が増えるだろう。堅調なハイブリッド車(HV)を含め、車の電動化でコンデンサー搭載数は増加する。」

「欧州向けが低調だ。また電気自動車(EV)市場は成長が鈍化し、当社顧客も生産台数や市場投入時期を見直しているのが現状。だが今後の市場拡大は間違いない。フィルムコンデンサーなどの需要が増えるだろう。堅調なハイブリッド車(HV)を含め、車の電動化でコンデンサー搭載数は増加する。」

エネマネ事業に注力

「急速充電器など、エネルギー・環境関連製品を手がけるNECST事業の現状は。」

「直近、蓄電システム新製品を市場投入しており、効率的な出荷で着実に売り上げにつながっていく。さらに医療機器や大学などの学術研究用の特殊電源が好調で、将来は核融合向けも期待している。」

NISSHA社長

鈴木 順也氏



「内装向け加飾フィルムや成形品を長年手がけてきたが、25年に外装向け事業を本格化した。(フロントガラスなど)の成長戦略は。」

「2025年の事業環境は、」

成長市場に絶えず挑戦

「(企業間)企業で中間資材を手がける当社は顧客の好不調の影響を受けやすく、需要の変動を自社でコントロールできない。市場が縮小すれば、そこから撤退をし、成長市場に挑戦する宿命にある。」

「成長市場への挑戦の具

インダ社長

石田 隆英氏



「食卓場などで無人化や省人化の需要が増えている。食品工場向けに展開する産業用機械は、工場無人化を目指して、段取り替えや清掃、検査工程などの人手がかかる工程に向けた製品開発に力を入れる。スバーなどの流通向けは、電子棚を使った需要をもっと取り込みたい。(需要などに応じて柔軟に価格変更させる)ダイナミックプラ

「10・20年後の成長に向けた新しい種まきを始めたい。食品工場向けに展開する産業用機械は、工場無人化を目指して、段取り替えや清掃、検査工程などの人手がかかる工程に向けた製品開発に力を入れる。スバーなどの流通向けは、電子棚を使った需要をもっと取り込みたい。(需要などに応じて柔軟に価格変更させる)ダイナミックプラ

成長に向けた種まき

「インド国内は価格重視のため、許容できる価格の範囲内でのプレミアムな機械『アフォーダブル・プレミウム機』を今後作らなければならない。現地にはソフトウェアの技術者はいるが、電気やハードウェアの技術者がいないため、早期に雇用してインドの市場にあった機械をこれから開発できる体制を整えていきたい。」

「海外で重視しているエリアは。」

多くの人は、「スマートシティ」と聞くと、
「AIやIoTによって効率化、最適化を追求し続ける先進的なデジタル都市」をイメージすることでしょう。
けれども、京セラは、もっといろいろな「スマートシティ」を考えたい。
今のままの街や地域を、土地や自然の多様な特徴を活かしながら
住む人みんながそれぞれの豊かさを目指すことができる、
そんな「スマートな街」「知恵にあふれた街」にしたい。

すべての街に、その街ならではの「スマート」を。

課題を解決するいろいろな知恵が集まり、
ひとりひとりが幸せになる知恵がどんどん生まれる、
そんなあなたの街の未来を、京セラは支えています。



京セラが考えるスマートシティ

伝統と革新 世界の交差点へ

京セラ社長

谷本 秀夫氏



「事業環境は、半導体関連や情報通信といった主要市場の需要環境はAI（人工知能）を除き低調で、本格回復は来期以降を想定している。今期は将来の成長に向けた構造改革を着実に進めていく。構造改革の一環で、売上高2000億円規模の事業を売却する方針です。『同規模の事業見直しは順調に進んでおり、来期以降も継続的に進める。』（京セラの特徴の）多角化から一気に転換しないが、セグメントごとに事業ポートフォリオを見直し、高付加価値品へのシフトや成長分野への投資を積極的に進める。AI需要拡大への対応遅れで有機基板の営業赤字が続きます。『生産設備のトラブルを挽回し、期初計画通り2025年10・12月に営業黒字化できる見込み。AI関連の基板大型化でコア材料をセミコンとガラスにする必要性が高まっていて、一部の顧客とプロジェクトを組み、共同開発を始め

成長への構造改革、着実に実行

「セミコンパッケージは需要が堅調なもの、原材料高騰などの影響を受け、利益面で苦戦しています。『来期に向けて少し上向き。カメラの高画質化・高感度化でイメージセンサー向けが増え、データセンター間をつなぐ光通信用もAI向けに徐々に増えており、期待できる』。『株式市場では株主の要求が複雑化しています。対話の方針は、真摯に対話を続けていくことが重要だ。中長期的な企業価値向上を目指し、資本効率の改善に取り組む』

宝ホールディングス社長

木村 睦氏



「焼酎や清酒などの『和食』と和食で相乗効果を生み、海外事業の拡大を目指します。『日本食材や和酒をレストランに販売しているが、米国はインフレの影響により個人消費が低調だ。北米や欧州で事業拡大する方針は変わらないが、消費が停滞する現在は投資を積極化するフェーズでない。ただ、長い目で見れば日本食の潜在的成長力は大きく、海外普及もさらに進む。回り道に見えるが、和食の広がりが結果的に和酒の普及にもつながるため、引き続き他社にない日本食材の取り扱いを増やす』。『タカラバイオは米トランプ政権の政策方針の影響を受け、苦戦しています。『研究用試薬の40%を米国で販売しており、影響は大きい。さらに試薬生産は中国が多く、関税政策の影響も直撃している。ただ米国の研究開発費（の方針）に左右される部分があるため、（引き続き）独自の技術や製品を生んでいる

日本食材取り扱い拡大

「2050年に現状比約2・8倍の売上高1兆円以上を目指す長期ビジョンを策定しました。『当社が目指す方向や将来、風土などへの理解が中途半端なまま社員が仕事をすることはもったいないという思いがあった。仕事を通じて自身がどう成長したかという視点も大切と考え、25年後も現役で活躍する若手に議論してもらい、作成したプランをもとに取締役会のメンバーでさらに議論を重ねて長期ビジョンを策定した。25年後のありたい姿を明確化した羅針盤だ』

三洋化成社長

樋口 章憲氏



「事業環境は、『石油化学業界を取り巻く環境は厳しい。中国メーカーによる基礎原料や汎用化学品の供給過剰に加え、不動産不況で中国内需が戻らず、安価な化学品がアジアへと流出している。当社も汎用品である高吸水性樹脂（SAP）は撤退を決め、すでに生産を止めた。現在、関連のプラント解体を進めている。』

中国勢増産響くコスト改革

「『これまで主に国内原料を使用した汎用品が、海外原料も積極的に使っている。そのために4月、調達部門に材料評価専属の人員を配置した。PPGは川崎市の工場を生産しているが、衣浦工場（愛知県半田市）や名古屋工場（同東海市）への移管を考えている。衣浦工場にはPPG原料である酸化プロピレン（PO）の大きな貯蔵タンクがあり、海外からの大量輸入でコストを下げられる。汎用品は現状ほとんど利益は出ているが、生産数量が多いため、再編効果が大きいと考えている。』

TOWA社長

三浦 宗男氏



「半導体チップを封止するモールドング装置の事業環境は、『米トランプ政権の関税政策が設備投資に対する不安を生み、2025年度上期は当社が見込んでいた通り低調だった。顧客によって本来であれば設備投資を検討する水準まで装置の稼働率が落ちているにもかかわらず、人海戦術で稼働率を高めている。』

HBM向け樹脂充填技術磨く

「AI以外の半導体も回復基調にはあるが、投資の動きがあるのは主にAI向けだ。HBMは（積層するDRAM間の）狭ギャップ化が進み、樹脂充填の難易度が上がっている。（最新世代の）HBM4の狭ギャップには従来装置では対応できなくなつたため、樹脂の充填の仕方などをアップグレードした新装置を開発した。HBM向け装置については現状、他社との競争はない。当社が経営理念に掲げる（顧客）ニーズの少し先を見据え、他社が手がけていない、グロウアップ・リードの製品開発を続ける限り追いつけないだろう。』

京都銀行頭取

安井 幹也氏



「後継者難や事業承継、人手不足などの課題を抱える事業者支援に力を入れています。『京都は歴史や伝統、技術を持つ事業者が多いものの、それらの課題による廃業が増えている。技術をつなぐ、京都をつなぐ』。『地域金融機関は地域のために存在し、守るのが大きな使命。M&A（合併・買収）仲介業が乱立するが、身近な金融機関が寄り添い、将来を一緒に考え、支援するのが理想だ』。『1000億円規模のファイナンスで2024年に始めた地域みらい共創事業は地域金融機関の使命として事業者が抱えるさまざまな課題を解決する。地域の雇用、技術などを育てるため、コンサルティングや超長期ローンなどで支援している。』

技術をつなぐ、京都をつなぐ

「M&A、ベンチャー投資など、多数の事業を切り出し、分社化して強化しています。『行員がすべてに対応できる時代ではなく、お客さまとの窓口は銀行の店舗だが、グループそれぞれのプロ集団と一緒の良い提案を行う。5年10年先の提案を行う。』

日新電機社長

西村 陽氏



「受変電設備関連などの電力・環境システムや半導体製造向け装置、装置部品の大規模化しており、組み立ての受託生産などを手がけています。『電力環境システムは再生可能エネルギーへの対応、パワー半導体向けの需要は想定よりも後ろ倒しになつて、2026年27年には立ち上がるのではと見えています。』

スマート化した職場に

「受変電設備関連の配電盤とGIS（ガス絶縁開閉装置）の工場を本社周辺と群馬県の拠点に新設します。『既存設備の生産効率向上で対応していたが、長期化などの課題があった。抜本的な対策をするため、新しい工場を建て、DX（デジタル変革）などでスマート化した。』

SHIMADZU
Excellence in Science

「空を自由に飛べないか」。
「身体の中を写真に撮れないか」。
そんなみなさまの夢に応えようと、
私たちは科学技術を進化させ
数々のイノベーションの誕生に立ち会うことができました。
創業から150年。
あなたの夢に夢中になり島津はいま、ここにある。

今日はまだ、
未来の途中だ。

150 Years of Innovation

株式会社 島津製作所 Shimadzu Corporation

2025

世界中のパートナーとともに
食肉に替わる培養肉や
がん細胞だけを破壊する
光免疫療法の開発に貢献

2020

アルツハイマー病の
予測を目指す質量分析計の
医療機器承認を取得

1877

初代 島津源蔵
民間初の有人軽気球の
飛揚に成功

1896

二代 島津源蔵
X線写真の撮影に成功

1961

世界初遠隔式X線
テレビジョンシステムの
販売開始

1956

日本初の
ガスクロマトグラフ
製品化に成功

2002

田中耕一
ノーベル化学賞受賞

150周年記念
サイト公開中





はくまく

薄膜技術

で

世界の産業科学に
貢献する。

半導体製造装置の
サムコ株式会社
samco
PARTNERS IN PROGRESS

〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町36 TEL:075-621-7841

新しい 生きるを、創る。

A new way of life

独自技術で難病に挑み、ひとりの「生きる」に希望をとどける。
ユニークな機能性食品で、みんなの「生きる」を健やかにする。
京都から世界へ。
新しい時代の、新しい生きるを、
わたしたちは、創っていく。

日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.



府・市、半導体産業振興で協力

産学集積強み生かす

京都府と京都市が協同で、半導体産業の振興に向けた動きが加速している。府・市は2025年度、府内半導体産業の発展を促す声が高まっている。府・市は2025年度、府内半導体産業の発展を促す声が高まっている。府・市は2025年度、府内半導体産業の発展を促す声が高まっている。

GSユアサ社長 阿部 貴志氏

「米国の関税政策の」
影響をどう捉えているか。――電動化の潮流変化が激しいです。
「一足元では米国による関税政策の影響で、自動車（BEV）用リチウムイオン二次電池直しなどが求められて（LBE）の需要は長期的には確実に拡大しているが、当社は現地生産・現地販売が中心の、現行の生産体制で対応するが、影響は今後、現在世界でBEVの潮流が変化し、ハイブリッド車（HEV）確保する」
「再生可能エネルギーやプラグインハイブリッド車（PHEV）の需要が高まっている。そのため電力貯蔵システム（ESS）の需要が拡大しています。」
「日本国内の再生可能エネルギーの導入拡大は重要な課題だ。自動車にも搭載されて、エネルギーの導入拡大は重要な課題だ。自動車にも搭載されて、エネルギーの導入拡大は重要な課題だ。」

10月に開催した「AI時代に備えるものづくり産業成長戦略サロンの様子」



Medical



Mobility



Sustainable Materials



IT Devices

Leaders in Trusted Technologies

私たちはお客さまに信頼される技術で市場のリーダーを目指します。

NISSHA

Branding Site

❌ (旧 Twitter)

NISSHA株式会社
www.nissha.com





Full Fab AUTOMATION

半導体が支える未来へ 自動化で貢献

ムラテックの半導体工場向け搬送システムは、
空間を活用した天井搬送で工程間の搬送を極限まで効率化し、
24時間365日止まることのない半導体工場で求められる
高い信頼性を実現しています。

muratec 村田機械株式会社

本社／京都市伏見区竹田向代町136
TEL.075(672)8111

■ ロジスティクスシステム ■ ファクトリーオートメーション ■ 半導体工場FAシステム
 ■ 工作機械 ■ シートメタル加工機 ■ 繊維機械 ■ デジタル複合機／情報機器 ■ 生産管理システム

系統用蓄電池に照準

再生エネ普及にらむ

AI（人工知能）活るため太陽光発電など
用やDX（デジタル変革）の拡大に伴うデ
タセンターの普及など、電力需要が増加し
ている。これに対応す

再生可能エネルギーの安定供給に
は、電力系統に直接接続する蓄電池が有
効。今後の成長が予想される。

GSユアサは、系統用蓄電池向けのリチウムイオン電池（LiB）の生産・販売が増加している。今後も国内の系統用や需要家内など、常に充放電する常用地域向けLiBの販売を拡大する。

さらに、こうした系統用や需要家向けでも利用できる自社製パワーコンディショナ（PCS）を併設した蓄電池設備の提案も進め、今後の成長が予想される。PCS併設型蓄電池設備はPCS盤と蓄電池盤のそれぞれで運搬・搬出でき、狭小地への設置も可能な点でいく。

西村陽社長は「実案件が動き出してきた。25年度も増えてきた」と手応えをつかむ。直近も系統用蓄電池システムを受注。

今後とも系統用蓄電池システムを積極的に展開する考えた。また、親会社の住友電気工業と蓄電池システムでのシナジー効果も模索し



再生可能エネルギーの安定供給には、電力系統に直接接続する蓄電池が有効。今後の成長が予想される。

GSユアサは、系統用蓄電池向けのリチウムイオン電池（LiB）の生産・販売が増加している。今後も国内の系統用や需要家内など、常に充放電する常用地域向けLiBの販売を拡大する。

さらに、こうした系統用や需要家向けでも利用できる自社製パワーコンディショナ（PCS）を併設した蓄電池設備の提案も進め、今後の成長が予想される。PCS併設型蓄電池設備はPCS盤と蓄電池盤のそれぞれで運搬・搬出でき、狭小地への設置も可能な点でいく。

西村陽社長は「実案件が動き出してきた。25年度も増えてきた」と手応えをつかむ。直近も系統用蓄電池システムを受注。

今後とも系統用蓄電池システムを積極的に展開する考えた。また、親会社の住友電気工業と蓄電池システムでのシナジー効果も模索し

SCREEN

人と技術をつなぎ、未来をひらく

輝け、未来。

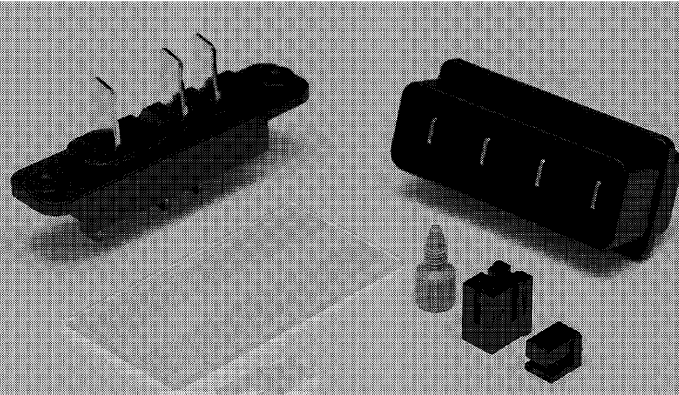
SCREENは、液体を操る技術で半導体を輝かせる
さらに、次々とひろがるソリューションで世界を輝かせていく

CM キャラクター
見上 愛

株式会社SCREENホールディングス

製造OEM

金型設計・製造 ～量産成形



測定会社の
金型・量産成形サービス

PRONICS

プロニクス株式会社

TEL : 0774-20-6148 <https://pronics.net/>



NS SLITTER
NISHI MURA

切る、巻く。で世界を支える



from Kyoto to the world

79年前、日本で最初に京都で産声を上げたスリッター技術は
世界中のさまざまな産業の発展に貢献してきました。
確かな技術に「NS SLITTER」のロゴを添えて、
これからも世界への挑戦を続けます。



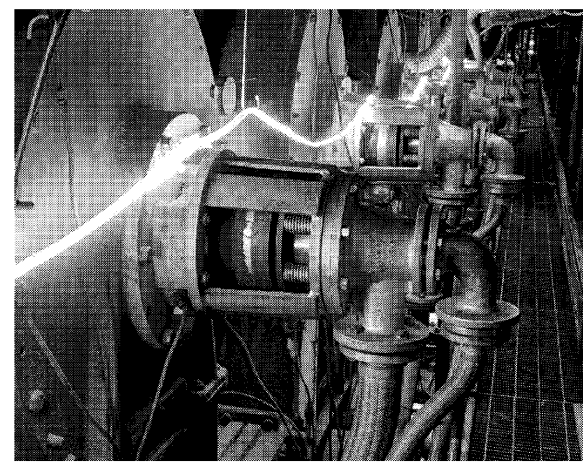
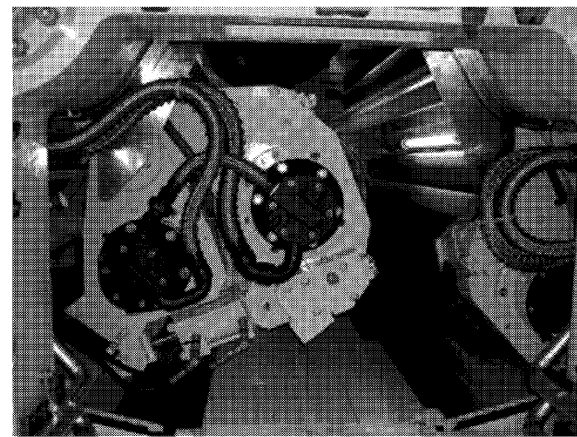
株式会社 西村製作所

本社工場 〒601-8113 京都府京都市南区上鳥羽南宮代町21番地
TEL 075-681-0351 FAX 075-681-4610 E-mail saleshd@ns-slitter.co.jp
東京支店 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目11番6号上野中央ビル7階
TEL 03-5828-3571 FAX 03-5828-3577 E-mail salesky@ns-slitter.co.jp

《抱負な経験・確かな技術・そして未来への躍動》

コイルドは世界

米国ミシガン州にあるケイデント・ジョンソン社と技術提携を行い、ロータリージョイント(圧力回転継手)を製造販売しています。韓国、台湾、ベトナム、タイ、マレーシアにおいて各国のシェアは50%以上です。



業界トップシェア

当社調べ

ロータリージョイントは、様々な業界の生産設備に於いて非常に重要な役割を果たしております。製紙業界においては、40年以上にわたり顧客各社より高評価をいただいております。

一歩先を行く技術力

創業から61年、長年にわたり培ってきた当社独自の技術力によって、様々な問題を解決しています。その技術力と経験に基づく問題解決力・提案力など当社にしかできないことがあると自負しております。

製品説明及び改善提案については弊社営業部までお問い合わせ下さい

株式会社日本ジョイント

〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田北浦 55
TEL : 0774-23-3211 FAX : 0774-24-0655
URL : <https://www.nippon-joint.co.jp/>

Instagram



次世代ロボエンジニア支援



ジュニアロボットチームの活動

国内では少子高齢化、ロボット競技大会、高
による労働力人口の不足、等学校向けのロボット
足で、ロボットやAI教材の貸出し・販売
(人工知能)などの導入などを行っている。
入が進む。一方で、今 設立当初は大学生な
後も発展するために、対象にした即戦力
は、高度なエンジニア人材の育成を中心とし
人材が必要だ。
京都府精華町を中心 表理事は「大学生から
に活動する、次世代ロ には興味がある層が限
ボットエンジニア支 定される。幼い時から
機構「スクランブル」 興味を持ってもらいた
は、小中学生からロボ いとして、22年に小
ットに興味を持って中 中学生向けの地域ロボ
を推進している。将来 ニアロボットチームを
のエンジニア人材の輩 立ち上げた。京都をは
出に貢献し、国内産業 じめ、大阪や東京など
の競争力強化につな 7都市に拠点を置き、
ることを目指す。
スクランブルは20 げるロボットを各地の
20年5月に発足し、 チーム単位で作上げ
た。小学5年生から中 している。
学3年生を対象とした スクランブルの活動
月2回のロボット部 は、京都企業のほか、
活動のほか、部活動に 大阪や東京、神奈川、
参加する部員や大学生 愛知などの約20社が支
・社会人も参加でき 援している。

支援企業の1社であ ロボット大会「COR
る三菱ロジスネクスト E(コア)」も23年か
は、スクランブルに所 開始している。ジュ
属する小中学生25人 をニアロボットチームも
本社(京都府長岡京 参加できる初心者やタ
市)へ8月に招待し、 ーゲットとした若り
交流会を開催。未来の ーグと、大学生や社会
エンジニアが実際の製 人など中上級者を対象
造現場に触れる機会を にした1部リーグの構
成だ。
参加した 大会では優勝チーム
小中学生は を決めるだけではな
工場や無人 く、ロボットエンジ
フォークリ ンに必要スキルを対
フト(AG 象とした賞も設けて
F)の見学 表彰している。参加者
で盛り上が 取りたい賞を狙っ
ったほか、 ロボットの仕様書など
製作したデ を提出し、決められた
イスクを授 基準を満たすと賞がも
げるロボッ らえる仕組みだ。終了
トを同社社 後にはフィードバック
員に紹介す もあり、「教育イベ
るなど現役 トとしてやっている」
エンジニア と川節代表理事は意義
との親睦を 語る。
深めた。
スクラン 今後も「挑戦的共創
ブルは、ロ 人材を育てる」(川節
ボット同土 代表理事)をテーマ
でディスク に、ロボットエンジ
アを育てることで国内 産業に貢献していく。



三菱ロジスネクストでの無人フォークリフト(AGF)の見学

STSフォーラム開催

80超の国や地域、国際機関から1500人以上参加

世界の科学者や政府 加した。
界の要人が地球規模の 急速に発展するAI
課題について話し合う (人工知能)が仕事や
「科学技術と人類の未 医療、研究に与える影
来に関する国際フォー 響などについて、12の
ラム」(STSフォー 本会議と22の分科会を
ラム)が京都市内で5 通じ意見交換した。
日から3日間にわたり 開会式には天皇、皇
開かれた。80を超える 后陛下が出席され、
国や地域、国際機関が 天皇陛下は「地球の未
ら1500人以上が参 来や人類の持続的発展

未来へ向け意見交換

に向け、科学技術を最 技術は常に文化と共に
良の形で生かす方法を 進化させる必要があ
模索する努力が続くこ ると訴えた。
とを望みます」と述べ 最終日にまとめた声
られた。
「2030年以降の 最大化しつつリスクを
世界を見据えて「科学 抑えるため、安全策を
技術と人類の未来」を 講じながらイノベーシ
オンを推進しなければ ならない」との文言が
の場厚く盛り込まれた。

小中学生に魅力発信

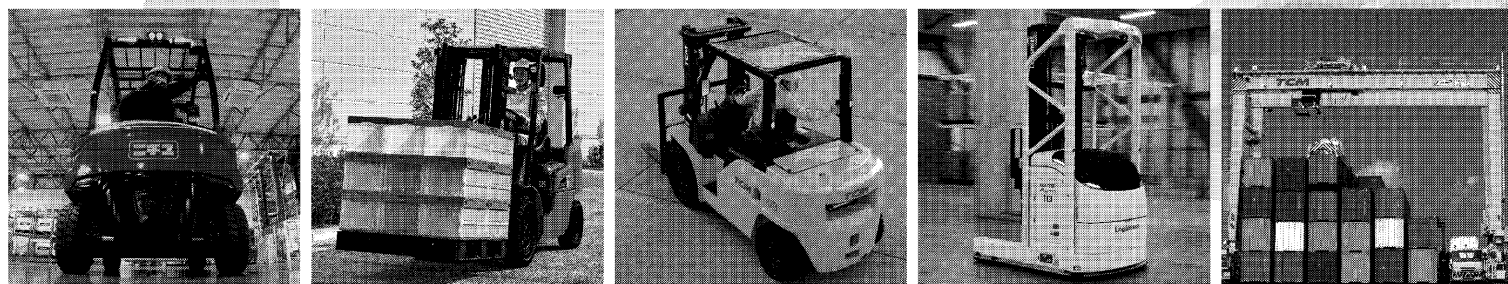
競技会や製造現場見学

Logisnext Solutions

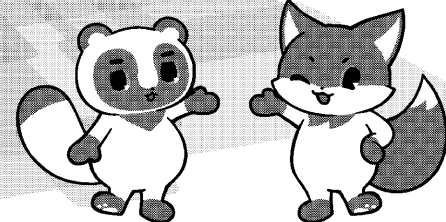
ロジスネクストジャパン株式会社 誕生

2025年10月1日付で三菱ロジスネクスト株式会社の直系販売会社8社が一つになり、「ロジスネクストジャパン株式会社」がスタートしました。国内市場向けの販売・サービス事業やマーケティング機能を統合することで、効率性の高い事業運営により、あらゆる物流シーンでのより迅速なソリューションの提供とサポートの実現をめざします。

8社のナレッジを集めたより優れたサービスにご期待ください。



ロジスネクストジャパン
WEB SITE



ロジスネクスト

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 www.logisnext.com/jp/

金型部門
Die Set Section

型取る

装置部門
Device Section

量産部門
Mass Production Section

想いを山岡製作所



リーク検査機
【特許取得済】



yamaoka.co.jp

株式会社 山岡製作所

本社 〒610-0101 京都府城陽市平川横道93
TEL (0774) 55-8500(代) FAX (0774) 53-7873

宇治田原工場 〒610-0231 京都府宇治田原町立川金井谷21-11
TEL (0774) 88-4880 FAX (0774) 88-4870

愛知営業所 〒491-0847 愛知県一宮市大和町宮地花池字中道9-37
(株式会社 小早川製作所内)

Specialists in Machine Tools Since1950

TANAKAZEN

株式会社タナカ善

お客様のために
みんなのために
社会のために

For customers
For everyone
For society

地域社会のために
日本のモノづくりを支える

工作機械から切削工具の
トータルアドバイザー

株式会社タナカ善

本社 〒612-8371 京都市伏見区竹田松林町55
TEL(075)612-6900(代表) FAX(075)612-6901

彦根営業所／栗東営業所／鹿見島営業所／亀岡営業所／丹後出張所

URL <https://www.tanakazen.co.jp/>
e-mail orange@tanakazen.co.jp

プラズマ技術のプロフェッショナル
—京都から広がるモノづくりの未来—



KYOTO
×
PLASMA

株式会社 魁半導体

URL <https://sakigakes.co.jp>

京都府京都市下京区西七条御前田町50番地
TEL 075-204-9589 FAX 050-3488-5883

京都企業
トップに聞く

(順不同)



培養肉でミyakumyak

不二電機工業社長 八木 達史 氏



「工場、施設、発電・変電所向けなどの重電機器市場に多様な機器を展開しています。『電力の需要増、災害時のレジリエンス（復元力）や電力網強化を背景に設備投資が増えている。当社製品にはプラスだ。汎用の試験用端子を応用して開

「海外は大口案件がある。国内は新造車が少なく、ワンマンカーの改造やランプ交換などが底堅い。表示灯・表示器の生産を草津製作所（滋賀県草津

無停電交換、ホットな製品

「海外は大口案件がある。国内は新造車が少なく、ワンマンカーの改造やランプ交換などが底堅い。表示灯・表示器の生産を草津製作所（滋賀県草津

コフロック社長 小島 望 氏



「半導体製造装置や半導体製造の付帯装置向けが多い流体計測制御機器事業の状況は。『半導体メーカーや製造装置メーカーが在庫を抱えている。人工知能（AI）関連などの一部を除く必要は回復していない印象。装置の国産化を進める

「中国は顧客となりうる企業が増え、大きくなっている。で、そこに向けた対応も必要となる。現在、半導体製造関連市場向け流量計で現地生産ができる体制をつくる方向で動いている。東アジアでも引き続き事業拡大を推進中。直近では、実績がこれまで少なかった台湾の半導体設備メーカー向けでバルブ

ゼロを1にする挑戦

「医療・環境関連機器を手がけるエムテック（愛知県北名古屋市）を買収しました。『酸素濃縮器の納入先との関係強化を進める。このほか、同社のファインパブル発生器と当社のガス発生装置で陸上着陸式のシナジーが見込めたり、技術力や生産能力の補完なども期待できる。エンジニアリングも事業の一つの柱であり、当社の生きる道。時代に即した環境やエネルギーという分野でチャレン

NKE社長 中村 道一 氏



「今秋、8年越しで開発した新型エアチャック『ウルトラフオース』を発売しました。『従来品比約3倍の把持力で重き・体積は約3分の1と、業界最高水準の高性能が特徴。高把持力の小型サイズでの実現にかなり苦労し、試行錯誤を繰り返

「淡野製作所（広島県安芸太田町）の垂直搬送機と当社製コンベヤーを組み合わせ、食品工場の1・2階間で重量物を運搬するシステムを提案し、実績も

新設備で精密加工技術磨く

「米国の関税措置や政情不安で自動車関連などの設備投資が年初からストップや延期となっていたが、ようやく動き出した。今期は厳しい予想だが、下期で挽回していきたい」

Horizon

Change the focus

視点を变える。発想が変わる。未来が変わる。

既成概念にとらわれずシンカし続けることで、
世界中の文化を今よりちょっとリッチにしたい。
キッカケはいつも、視点から。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083

京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大蔵町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025

福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112

仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068



京都中央信用金庫は**総合力と専門性**で
あらゆる**ビジネスシーン**を**サポート**してまいります。

創業・ベンチャー支援

事業承継・M&A

ビジネスマッチング

海外ビジネスサポート

補助金・助成金

サステナビリティ経営サポート

京都中央信用金庫

www.chushin.co.jp

HPはこちら▶



西村製作所は紙やフィルム、非鉄金属箔などを一定幅で切断し、巻き取る産業機械「スリッター」の専門メーカー。さまざまな用途の材料に対応できる技術・製造・アフターサービスの総合力が強みであり国内トップシェアを誇る。

近年の受注の柱であったリチウムイオン二次電池用途の需要は落ち着きながらも、国内外の景気の波に左右されない確固たるブランドの確立に向けて、間断なく活動を進めている。2026年1月には創業80周年を迎える。今後のさらなる成長を長期的に見据えて27年度までに10億円以上の投資を計画し、社内システム更新による生産性の向上、ならびに次世代型スリッターの開発のための技術構築や環境整備を図る。

西村製作所

たけびしは京都の地に根付く「進取創造の精神」で進化と挑戦を続け、「京都発最強のトータルソリューション商社」を目指す。

創業100周年を迎える2026年度が最終年度の中期経営計画「T-L i n k1369」達成に向け、インドや東南アジアを中心とした海外展開を加速する。医療機器、スマートファクトリービジネスなどの成長分野も拡大し、独自ソフトウェアを核としたソリューション提案にも注力。幅広い事業領域で成長戦略を推進する。

海外事業では、インド支店を現地法人化し、顧客対応力を強化した。また、サステナビリティの取り組みで、太陽光電力自己託送システムの運用を始めるなど、社会課題の解決と持続可能な未来の創造に挑戦する。

たけびし

プロニクスは射出成形用金型の製作や、プラスチック樹脂の射出成形、寸法測定受託サービスなどを手がけている。

主力の事業は、樹脂成形品やプレス部品などの寸法測定受託サービス。測定機の導入コスト、測定者育成ノウハウ、繁忙期の能力供給といったユーザーが抱える課題に対し、「品質パートナー」である20人の女性スタッフが迅速に応じる。

3次元(3D)測定や画像測定に対応するほか、3次元表面粗さ、金型手磨きなどの幅広いサービスも提供している。

製造部門では15~180トクラスの成形機を保有しており、短納期、最適コストで金型の設計・製造から量産成形までを一貫して請け負っている。

プロニクス

日本ジョイントは創業62年目を迎えたロータリージョイント専門メーカー。同社製品は技術提携先の米ジョンソンのもと、国内で製造し、製紙業界で90%のシェアを持つ。独創的な製品構造に対し、製鉄業界の顧客は高く評価している。近年は段ボール業界向けに革新的な構造の製品を納入してシェアを伸ばすなど、さまざまな素材産業の生産設備を支える重要な役割を担っている。

ロータリージョイントで培った技術と経験を活かし、工事専属の組織「チームコロプロ」も結成している。改造工事、設備診断、保守点検などの活動を行い、顧客から好評だ。同社は常に新しい最善策を模索する姿勢を強みに、最善の方法を追求するためのためまね努力を続けている。

日本ジョイント

変革で世界の頂へ Happy Tech Happy World

私たちが目指すのは、半導体を核とした「幸せを実感できる、幸せを生む技術」の開発。

知恵を結集し、挑戦をつづけることで、「Happy Tech」を次々と生み出し、

世界に貢献していくTOWAです。

生成AI向け半導体の生産に最適な装置

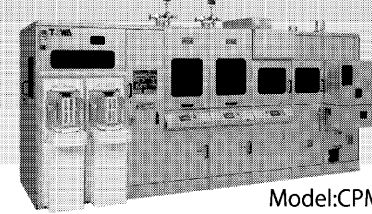
コンプレッションモールドディング

レジンフローコントロールモールドディング

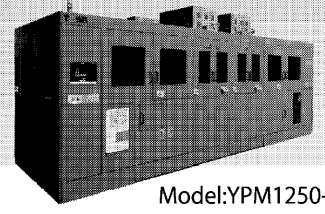
京都発▲世界へ

半導体モールドディング装置

世界シェア NO.1 ※当社調べ



Model:CPM1080



Model:YPM1250-EPQ

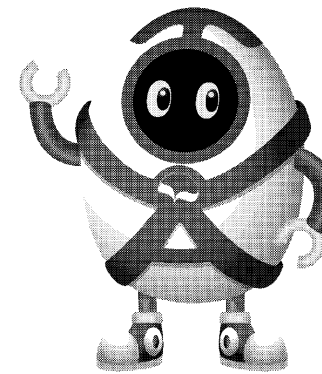
TOWA 独自のコンプレッション装置なら約6割のCO2削減が可能です。
※当社トランスファ装置との比較



TOWA

〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地
TEL (075)692-0250

TOWA
キャラクター
トワッピー



伝統と革新 世界の交差点へ

有力企業紹介
(順不同)

日本新薬

日本新薬は医薬品と機能食品の事業を通じ、「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」という経営理念のもと、社会からの期待に応えてきた。独自の創造力を基盤に、希少疾患などの専門性の高い領域や、核酸医薬といった医療の未来を支える先進技術に注力し、国内外で確かな信頼と実績を築いている。研究開発力の強化、グローバル展開の加速により、医療・健康ニーズの多様化に対応し、革新的な製品・サービスの提供を推進する。

2024年からの第7次5カ年中期経営計画では35年のあいたい姿に「京都のグローバルヘルスケアカンパニーとして、一人ひとりの新しい生きるを世界に届ける会社」を掲げ、実現に向け価値創造に挑戦し続けている。

サンフレム

サンフレムはロータリーカップバーナーによる燃焼技術を生かした船舶向け補助ボイラーバーナーと焼却炉を半世紀以上、製造してきた。「現場で求められるモノを提供する」を使命に高い性能、安全性、使いやすさを追求した製品を展開。近年は次世代燃料への移行を検討する船主や造船所のニーズに対応し、培った燃焼技術を軸に代替燃料バーナーの開発も推進する。

ロータリーカップバーナーを用いたメタノールDF(二元燃料)バーナー、アンモニアDFバーナー、カシワテック(東京都港区)と共同開発の業界初のアンモニア100%燃焼バーナーなどを提案。アンモニアガスやアンモニア含有排水を燃焼・処理するGCU(ガス燃焼ユニット)も展開し、引き合いが増えている。

魁半導体

プラズマ装置メーカーの魁半導体は、現在も共同研究などを行う京都工芸繊維大学の大学院でのプラズマ研究から創業した企業。同装置販売に加え、4月から新事業として装置の年間レンタルサービスも開始。初期コストを抑えた導入が利点で、短期の研究開発や補助金活用に最適だと、大学や企業からの引き合いが増加している。

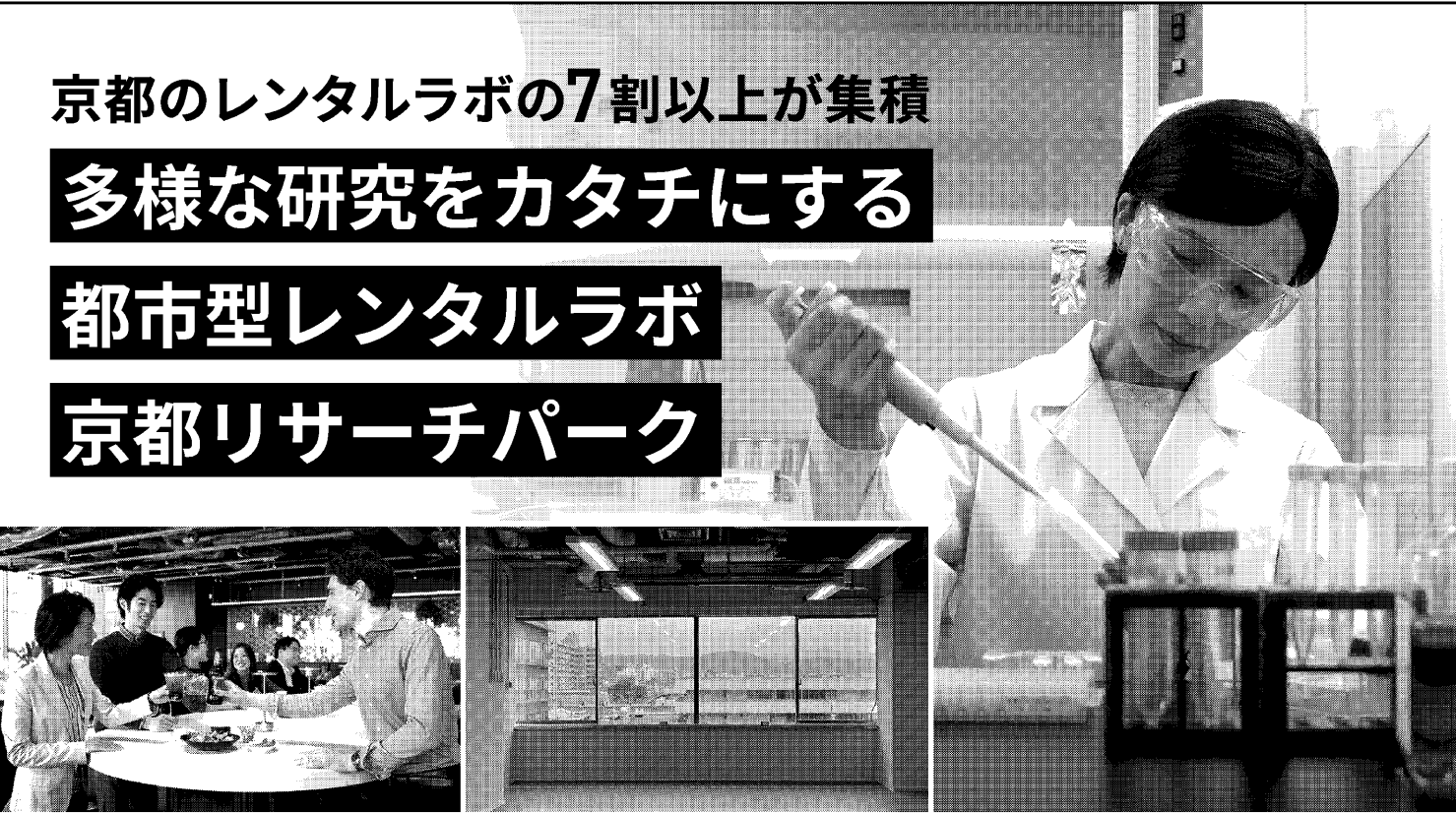
5月には独自のプラズマプロセスを活用した超微細処理技術も開発した。樹脂や金属など、幅広い基材に適用可能で、撥水コーティングのみならず防汚コーティング、細菌の付着を防ぐコーティングなど、多様な応用が期待される。大気圧プラズマ、真空プラズマの両方に対応した技術開発力が強みで、今後も用途を拡大していく。

京都のレンタルラボの7割以上が集積

多様な研究をカタチにする

都市型レンタルラボ

京都リサーチパーク



【京都リサーチパーク(KRP)のレンタルラボの特長】

- 約120区画の豊富なラインナップで、多様な研究に対応可能なレンタルラボ
- 510組織・6,000人が集う、京都最大級のビジネス・研究開発拠点
- 研究とビジネスを支える、快適な環境や充実したインフラ
- 京都駅から2駅、人材獲得に有利で働きやすい都市型ラボ

運営:京都リサーチパーク株式会社

レンタルラボに関するお問合せ



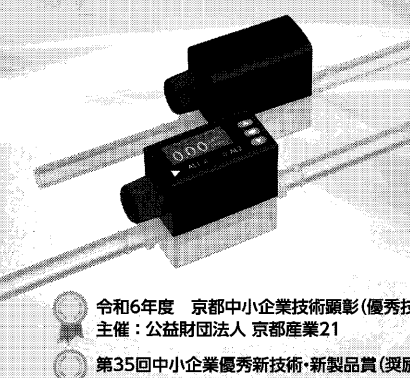
KOFLOC
Kyoto

流体計測・制御・発生技術のコフロック

PIマスフローコントローラ
MODEL ST-500 SERIES

温度補正付小型カルマン渦流量計
MODEL FML-300 SERIES

屋内/屋外対応 窒素ガス発生装置
N₂ IMPACT II SERIES



圧力変動に対し安定した流量制御が可能なマスフローコントローラ
■PI...Pressure Insensitive(ST-500のみ)
圧力変動に対し安定した流量制御
■ダイヤフラム式パルプ採用のメタルシールMFCで、EP処理及び酸化被膜処理により腐蝕性流体に対応
■DeviceNet®、EtherCAT®、RS485通信(ST-550のみ)
■ガスパネルマウント、Wシール/Cシール継手対応
■S.P.精度、全流量制御応答1sec以内
■専用アプリによるマルチレンジ機能(30~100%F.S.)

温度センサ搭載により、液温変化時にも高精度な計測可能
■接液部にNewPFAを採用し、薬液や超純水にも対応
■0.3~250L/minまでの幅広い流量レンジをカバー
■コンパクト設計で装置の小型化にも貢献
■IP65相当の防水性

オイルフリーコンプレッサ内蔵で、クリーンな窒素を供給
■屋外設置タイプが新たに追加!工場スペースの有効活用に貢献
・IPX3相当の防滴仕様
・屋外40℃条件下で運転可能
・冬場の凍結防止用ヒーター搭載
・4点アイボルト付
■ECOモード搭載、最大49%電力削減
■外部エア供給機能搭載
緊急時バックアップAIRで運転可能

コフロック株式会社

https://www.kofloc.co.jp



本社・京田辺工場 〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木1-3
八幡オフィス・工場 〒614-8184 京都府八幡市上津屋八丁25
東京メインオフィス 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-3-6 人形町7-2nd1F
名古屋オフィス 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-16-17 花車山南館8F
大阪オフィス 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-20 TEK第2ビル8F
九州出張所 〒839-0812 福岡県久留米市山ノ内安成野3-12-7 わくわく久留米 B-1

TEL:0774-62-4411 FAX:0774-63-5041
TEL:075-983-3500 FAX:075-983-3501
TEL:03-3664-0200 FAX:03-3664-0210
TEL:052-583-0411 FAX:052-569-1286
TEL:06-4861-4441 FAX:06-4861-4455
TEL:0942-41-0088 FAX:075-983-3501

LE Carbo

リビト 精光グループ

真空浸炭熱処理

有効炉内寸法
820mm(W)×1400mm(D)×1200mm(H)
最大処理重量 1,000kg(グロス)

LE Carbo

長尺物、低歪
最短納期
小ロット対応

浸炭について、お気軽にお問い合わせください

エルイーカーボ 株式会社

〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原町22番地
TEL.075-694-1138 FAX.075-694-1238
E-mail le.carburizing@gmail.com

薄肉ワークの加工でお困りのお客様へ

《新商品》 [PAT.P]
薄肉加工用クランプ
『ジェントリークランプ』

既存のチャック
専用生爪
薄肉ワーク
ストッパー
(内径把握用のピンを内蔵)

紹介動画
既存チャックへ取り付け

既存のチャックに取り付け可能

摘まむクランプで
ワークを歪ませない!

川田鉄工株式会社

お問い合わせはホームページで
https://www.touchdex.com

〒622-0213 京都府船井郡京丹波町須知本町40
TEL.(0771)82-0003(代表) FAX.(0771)82-2018

京信について
もっと深く!
もっと詳しく!

よりそう、
つなげる。

京都信用金庫の取組を紹介!

京信のいちおし

ICHIOSHI

READ NOW
QRコード

個人・事業主の皆様
に
寄り添う・つなげる

皆様とともに
地域をゆたかに

真の顧客本位のための
人づくりと社内改革

コミュニティ・バンク京信

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地 TEL (075) 211 - 2111
「コミュニティ・バンク京信」は、京都信用金庫のブランドネームです。

1989年開設の京都リサーチパーク（KRP）は全国初の民間運営サイエンスパーク。公的産業支援機関含む510組織、6,000人が集う。オフィス・ラボ賃貸、貸会議室、起業家育成、オープンイノベーション支援、セミナー・交流イベント開催など、新事業・新産業創出につながる多様な活動を行う。

KRPは「京都からの新ビジネス・新産業創出に貢献する」というミッションを掲げ、研究者や専門家の先進的な環境技術やサステナブルな経営思考を発信している。持続可能な技術開発をテーマにしたセミナーや、直近では企業のための生物多様性を学ぶ短期集中講座「京都大学ネイチャーポジティブスクール」を10月から12月の間で計5回開催する。

京都リサーチパーク

メタバースでお茶

日東精工はモノづくりに欠かせないネジなどの工業用ファスナーやネジを締める自動組み立て機械、成分分析や流量計測などに使う計測・検査装置をグローバル展開し、年々事業領域を拡大させている。創業の精神「地域産業の振興と地域の雇用創出」に則り、創業の地である京都府の綾部から世界のモノづくりを支えている。

クルマの電動化部品向け高機能ネジ、省人化に必須のネジ締めロボット、環境配慮製品のタップタイト（ネジ）、マイクロバブル（微細な気泡）生成装置、分析装置などを幅広く展開。成長著しいインド進出にも着手した。世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を合言葉に、顧客の課題解決に挑む。

日東精工

宮木電機製作所

壬生電機製作所は1950年の創業以来、社会インフラ向けの電気機器、配線器具、電気電子制御装置の開発・製造・販売を通じ、社会の発展に貢献してきた。主力製品である端子台に加え、LED照明や各種スイッチ・銅帯加工品など、制御盤・配電盤に使用される製品を中心に開発・製造・販売している。

89年から展開する電気配線用プリンター「MPシリーズ」は、産業機器製造に必要な記銘板やチューブなどへ高速かつ高精度でプリントできる。同シリーズ最新の「MP-60N/B」は他社との連携でCADデータとのリンクなどを強化し、人手や時間のかかる作業を短縮できるのが特長。人手不足が深刻化する中、現場の声に寄り添い、開発を進めていく方針だ。

壬生電機製作所

光伸舎

ジーマックスは40mm×40mmを標準とする汎用型ペルチェ素子を世界展開する。中国河北省の自社工場で生産するペルチェ素子は、熱対応力を緩和する構造を採用し、低価格ながら高信頼性を実現。電気自動車（EV）や半導体製造装置、医療機器をはじめ、家電、厨房機器など幅広い分野で採用されている。

半導体製造装置向けでは、シリコンウエハーの処理工程での温度制御に、同社のペルチェ素子が使用されている。精密な温度調整はもちろん、システムの小型化も可能として採用が広がる。9月には半導体関連の展示会「セミコン・台湾」へ出展し、12月開催の「セミコン・ジャパン」にも出展予定。半導体製造装置関連の需要取り込みに力を入れている。

ジーマックス

カシフジ

回せ、時代を。
動かせ、世界を。

Kashifuji
Since 1913

最先端の歯車加工技術を京都から

OUR GEARS DRIVE
THE WORLD INTO
THE FUTURE

環境と人への優しさ

株式会社カシフジ

本社・工場 〒601-8131 京都市南区上鳥羽鴨田町6番地
営業部 TEL(075)661-5271 FAX(075)661-5270
https://www.kashifuji.co.jp

油燃料だけでなく、
アンモニアやメタノールにも最適。
これからも頼りになる、サンフレムの
ロータリカップバーナ。

LNG/アンモニア対応製品
補助ボイラ用バーナ
GCU (Gas Combustion Unit)
メタノール対応製品
補助ボイラ用バーナ

アンモニア対応GCU (Gas Combustion Unit)
*画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合がございます。

株式会社サンフレム
http://sunflame.net/

〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番30
TEL: (0774) 41-3310 メール: info@sunflame.net



受け継ぐ心 進化する技



約70年にわたりフォーマーの可能性を追求してきたサカムラは、ものづくりのDNAを受け継ぎつつ、さらなる飛躍へと挑戦し続けています。顧客の声から生まれた革新的なコンペアや、協働ロボットを取り入れた周辺技術開発などで、フォーマーの性能を次のステージへ。

Simple Speed, Service

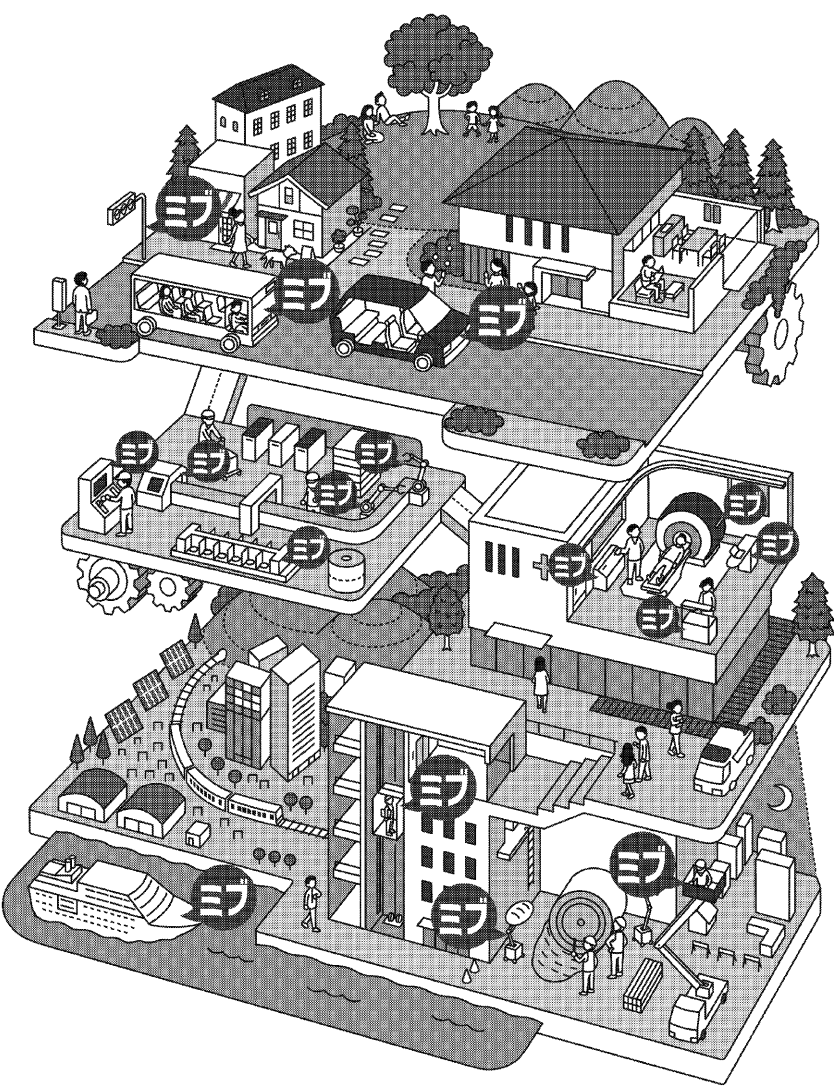
SAKAMURA

株式会社阪村機械製作所
京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城46
<https://www.sakamura.org>



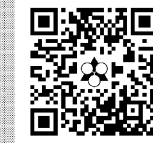

顧客第一主義に徹し、パフォーマンスNo.1の塑性加工技術とサービスを追求する

暮らしのどこかで 電気をつなげる。



株式会社 **壬生電機製作所**


TEL:075-681-8561 <https://www.mibudenki.co.jp>



阪村ホットアート

阪村ホットアートは、日本国内で唯一の横型熱間フォーマーのメーカー。同社が手がけるのは加熱した金属を成形する横型の多段式鍛造機械で、世界でも同社を含めて2社しかいない。「横型熱間フォーマーのエキスパート」として、設計、製造、設備立ち上げ、アフターメンテナンスまでのトータルプロデュースをしている。

これまで、高強度の建材用ハイテンションナットやベアリングの外内輪、自動車部品などを高速で鍛造できる工法を確立。新しい鍛造工法や、生産性向上などの新しい技術開発への継続的な取り組みを通じて、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する省資源、省エネにつなげ、常に顧客のニーズに応える設備を提供している。



CO₂を詰めたボンベとCO₂が原料の器

松風

歯科材料・機器総合メーカーである松風。国産初の高級陶歯を開発した創業者のベンチャースピリットを受け継ぎ、1922年の創業以来、数々の「世界初」「日本初」製品を生み出してきた。海外市場に注力する現在、115カ国以上に製品を供給している。

進行中の第5次中期経営計画では、長期ビジョンに掲げていた連結売上高500億円の2028年3月期達成を目指している。計画実現のため、世界の需要増に対応すべく24年、中国に設けた製造会社本稼働に向けた準備をするほか、本社新工場の建設を進めるなど生産能力拡大のため、かつてない規模の投資を行う方針。歯科医療への貢献を通じて、世界中の人びとの生活を支える企業を目指す。

山岡製作所

山岡製作所は超精密領域での金型製作を強みにプレス機や省人化機器などを手がけ、近年は次世代電池関連でも存在感を示す。ミクロンオーダーの部品加工や極小穴加工、高硬度材の鏡面仕上げといった高難度の要求に、培った職人技と最新加工機の融合で対応。創業90周年を控え、半導体や電子部品、自動車、医療、食品など多様な業界で積み重ねた実績がその証といえる。

次世代のリチウムイオン電池の開発や製造工程などに用いられるアルミラミネート成形・折り金型、タブ処理金型、リーク検査機を市場投入。金型と装置の一貫対応で開発から量産までのスピードと品質を両立し、顧客の量産時の品質を支える「金型の力」をモノづくり現場へと届ける。

桶谷製作所

桶谷製作所は製造装置向け大型部品の機械加工・製造に加え、現在は装置の組み立てや設置、解体、移設、周辺部品製作まで領域を拡大し、製造装置に関するソリューションサービスを幅広く展開する成長企業。京都を拠点に大阪市、名古屋市、横浜市、福岡市で営業所を構え、半導体や自動車部品、電池、電子部品、工作機械、産業機器、素材関連の業界など、顧客は海外含め2000社を超す。

調達面では工場や国内サプライヤーの品質管理体制を強化しつつ、ローコスト調達する商社機能も推進する。海外に精通した外国人スタッフも各事業所と海外の現地に配置し、積極的に海外サプライヤーを開拓。将来を見据え、グローバル事業拡大への布石を打つ。

大阪ガス

大阪ガスが中心のDaigasグループは、二酸化炭素（CO₂）と水素を合成した未来の都市ガス「e-メタン」の製造技術開発に取り組んでいる。e-メタンは大気中に放出されたり、すでにあるCO₂を回収し、リサイクルして作る。このため、燃焼しても大気中のCO₂は実質的に増えず、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）社会に貢献できる。

e-メタンは都市ガスの原料である天然ガス主成分のメタンと同じで、既存の導管網やガス機器をそのまま利用でき、社会インフラへの投資コストを抑制できる。同グループは気候変動をはじめとする社会課題の解決に取り組み、暮らしとビジネスの「さらなる進化、への貢献を目指す。

タナカ善

タナカ善は京滋地域が基盤の機械工具商社。工作機械や切削工具などを扱い、販売から据え付けまでを一貫して担う。顧客ニーズの低価格で高品質なエンドミルなどの自社ブランド品も手がけ、オンラインショップなどを通じて迅速提供する。

今年は創業75周年。多くのステーキホルダーからの支援のたまものとし、100周年に向けさらなる成長に挑む。京都市内で今春開いた主催展示会「京滋マシン&ツールソリューションフェア」には過去最高の107社が出展。来場数も記録を更新し、活況だった。

省力化や自動化、ロボット技術でもものづくりの課題を解決し、人手不足時代に最適なソリューションで効率的かつ安定した顧客の生産体制実現を支える。

星和電機

10月、創業80周年を迎えた星和電機は産業用照明のバイオニア。京都府城陽市に本社・工場を構え、道路情報表示システムや道路照明、ノイズ対策製品などを手がけている。防爆エリアや高温対応など、多様な環境に対応した製品を展開しており、近年は安全、省人化、遠隔監視機能を備えた多機能照明やシステム製品に注力する。

多機能照明の新製品、白色と有色の切替で異常や危険を効果的に現場に知らせる「防爆形サインLED灯器具」と、タンク内部の遠隔監視で省人化に貢献する「防爆形カメラ付LED透視灯」を発売した。システム製品では、危険場所の状況を遠隔監視し、安全性と生産性を向上する「防爆形ネットワークカメラ」を市場投入した。

伝統と革新 世界の交差点へ 有力企業紹介（順不同）

変わらぬ製品に込めた想い・・・

Since 1918



常に夢を追いつけ、新しいモノを世に送り出し続ける技術開発型企業

新製品



全方位形ネットワークカメラ
NWEX-CM6H

株式会社 宮木電機製作所

本社 TEL:0771-24-7401
〒621-0013 京都府岡岡市大井町並河3-16-18

東部営業所 TEL:045-507-2270
〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見中央5-4-10 ベルス・ベイサイド502

名古屋営業所 TEL:052-241-8525
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須4-9-79 大須TNビル6F-A

西部営業所 TEL:075-841-5321
〒604-8431 京都府京都市中京区西ノ京原町99



<https://www.miyaki-elec.co.jp/>

冷却技術のプロとして 商品開発に関する課題を テクニカルに解決します。



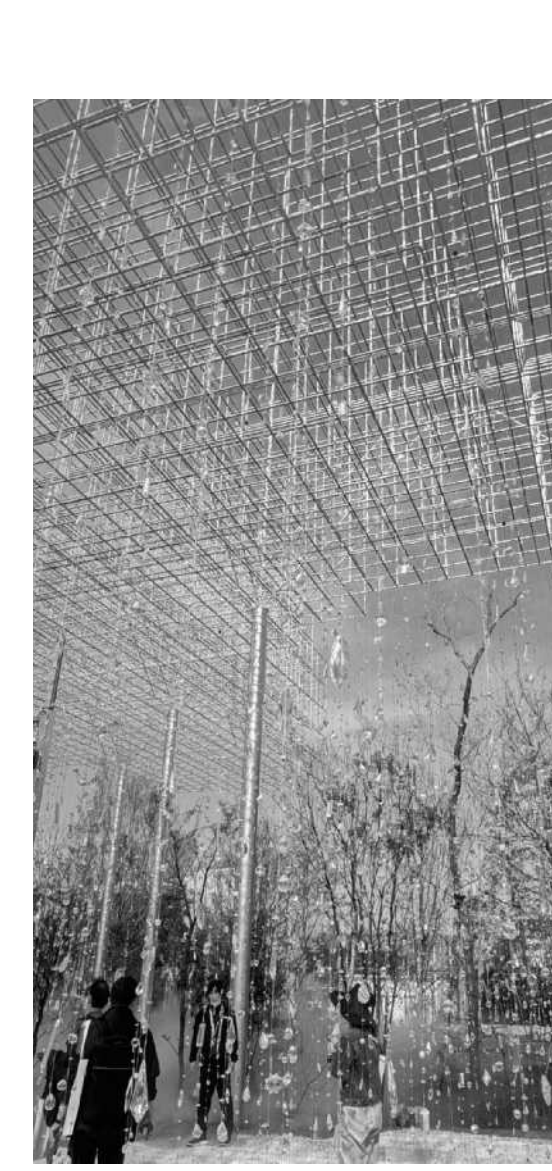
冷却半導体（ペルチェ素子）、小型冷蔵庫、ワインセラー

TECHNICAL INNOVATION

Z-MAX

URL www.z-max.jp





シグネチャーパビリオン Better Co-Being



信頼の絆で
お客様とともに歩む
ビジネスパートナー



未来を預かる、未来を運ぶ
株式会社 **中央倉庫**

(東証プライム：9319)

本社 / 〒600-8843 京都市下京区朱雀内畑町41番地
<https://www.chuosoko.co.jp>



桶谷は大型機械部品の製造から脱皮し、
製造装置の組立・設置メーカーとして成長してまいります。



中国を中心とした海外調達を積極的に進めています。

高品質 短納期 低価格 を保証

製造設備技術の総合商社
株式会社桶谷製作所

本社 〒601-8203 京都市南区久世山町376-7 TEL 075-922-9409
URL:<https://www.e-oketani.co.jp/> E-MAIL:oketani@e-oketani.co.jp

桶谷製作所

検索

関東事業所、東海事業所、九州営業所、大阪事業所、韓国営業所、久世工場、久御山工場、伏見工場、上島羽工場

村田機械

村田機械は1935年創業のF A（工場自動化）・O A機器メーカー。繊維機械や物流システム、F Aシステム、クリーンルーム用F Aシステム、工作機械、板金加工機などの産業機械に加え、製造業向け生産管理システムやデジタル複合機をはじめとする情報機器など、多岐にわたる事業を展開している。

クリーンFA事業は「Full Fab AUTOMATION」をコンセプトに掲げ、半導体製造前工程の搬送システムだけでなく先端パッケージングやクリーンルーム外の搬入・出荷エリアを含む工場全体の自動化を手がける。同社の天井走行式無人搬送システムは、搬送台車の動作性能に加え、高いシステム制御技術が強み。

ホリゾン

ホリゾンは印刷後の後加工を行う製本機器事業を主力として「印刷製本工場の自動化」を掲げ、高度な自動制御に取り組む。スキルレスで扱える製本機器は、同社製マネジメントシステム「iCE LINK」に接続することで、クラウド経由で一元管理が可能になり、上流システムとの連携やメンテナンス管理、生産性の見える化を実現する。

2019年からは自社製品と協働ロボット・無人搬送車（AGV）・自律移動ロボット（AMR）などの工場自動化（FA）機器を組み合わせたファクトリーオートメーションを展開・提案。トレンドやニーズに柔軟に対応することで世界トップクラスのシェアを誇り、業界内で唯一無二の地位を確立している。



フューチャートレイン

中央倉庫

中央倉庫は物流で社会を支える。国内品はもとより、海外品の取り扱いにもニッチなサービスを提供する。輸入は工業原料が中心で、日本全国で顧客に最適な荷揚げ港を提案できる。さらに港と内航船、トレーラー、トラック、内陸倉庫を組み合わせ、中継輸送も含めた複合的な物流ネットワークを構築。荷姿変更などの加工作業にも強みがある。輸出は専門技術を持つ部門を有し、工場設備や精密機械・部品の搬出入から輸送、輸出梱包、通関まで一貫した機能を提供する。

近年は廃ペットボトル再資源化事業にも参画し、新しいスタイルの物流機能も有する。信頼され、打てば響く物流パートナーとして、顧客の経営課題解決に誠実に応える。

エルイーカーボ

リヒト精光グループのエルイーカーボは2019年5月に新工場を移働した。大型真空浸炭炉を2基導入。より高品質で、金型や機械部品などで欠かせない高い耐摩耗性などの熱処理を手がけている。特に真空浸炭焼き入れを中心に短納期の提供を心がけている。

浸炭熱処理は表面層の硬化を目的に、炭素を添加する処理。耐摩耗性や耐久性、靱性（じんせい）などの向上に役立つ。新工場では1100℃迄まで縦で挿入でき、幅820mm、奥行き1400mmの有効寸法を誇る。熱処理歪みの低減に役立ち、顧客が求める浸炭防止や浸炭深さなどの要望に誠実に対応している。顧客の製品に高品質熱処理を施し、付加価値を高めるという同社のこだわりで貢献していく。

川田鉄工

川田鉄工の新型治具「ジェントリークランプ」は、薄肉で中空形状の加工対象物（ワーク）を歪ませずにクランプ（固定）する。既存のチャックにも取り付け可能な点が特徴で、油圧や空圧、手締めのスcrewチャックなどで、加工に合わせた成形ができる生爪を使用するチャックを対象とする製品だ。

専用の生爪のセルフカットと、チャック中央に円柱状のブロック（ストッパー）を取り付けて把握力を調節することで設置が完了する。爪が閉じると内部のリンク機構でワーク内径を押さえるピンが突出。爪とピンでワークの内外径を掴まむようにつかむことでワークを歪ませずにチャッキングができる。ユーザーに合わせた受注生産で対応している。

阪村機械製作所

阪村機械製作所は横型多段式鍛造機械「フォーマー」のトップメーカーとして40カ国以上に7000台を超える納入実績を持つ。1955年に国産初のボルトフォーマーを開発して以来、約70年にわたってさまざまなフォーマーを開発してきた。現在はフォーマーの開発にとどまらず、「ないものを創り出し、ほしいを、カタチに」を開発ビジョンに、フォーマーの付帯設備開発にも力を入れる。

例えば、打痕傷をつけない部品取り出しロボットとコンベヤーのラインや、環境に配慮したオイルの汚濁対策などだ。ほかにも協働ロボットを採用し、切断ブランクや各工程のブランクを取り出して検査するシステムなど、常に新しい取り組みに挑戦している。

三菱ロジスネクスト

三菱ロジスネクストは、倉庫から工場、港湾まであらゆる物流シーンをカバーする総合物流機器メーカー。バッテリー式やエンジン式フォークリフト、無人搬送システムといったハードとソフトの両面から、さまざまな顧客のニーズに応えるソリューションを提供している。

その100%子会社として国内で各種商品の販売・サービスを行ってきた直系販売会社8社が一つになり、2025年10月1日付で新会社「ロジスネクストジャパン」としてスタートした。国内市場向け販売・サービス事業やマーケティング機能の統合による効率性の高い事業運営を実現。顧客へのソリューション提案とサービスのさらなる充実で、物流分野の課題解決への貢献を追求する。

伝統と革新 世界の交差点へ 有力企業紹介（順不同）

F.S

内部加工 工具

●内面取り ●ドリル加工 ●ウラ座ぐり加工

IC-D型 面取能力：下穴径20φで2C程度
付属の内面取りカッター（23φ）

■特長 ①従来不可能であったインサイド側からの穴明、面取、座ぐり等が可能になりました。
②逆転機能のあるボール盤ではタップ加工も出来ます。
◎通常付属品
面取りカッター（23φ）コレット、
着脱具各1個
●市販のドリル
（※回転数は1/2に減速されます）



LG型 ■特長 ①ホルダーは取り替え式ですのでワークの加工径、長さに合わせて選んでご使用いただけます。（本体は共通）
②カッターはネジ式ですので簡単に交換でき、大変経済的です。
③ホルダーは市販のコードレスドライバなど手持ちにて使用でき、屋外での作業や重量物の内面取りも可能です。
※別売りのリーバーが必要、10LG型ホルダーを除く



インナーカット

IC-70S型

■特長
IC-D型の強力型
※別注加工も承ります。ご相談下さい。
◎通常付属品
面取りカッター（25φ）コレット（8φ）、
着脱具各1個



株式会社 藤居製作所
〒613-0023 京都府久世郡久御山町野村東178-1 FAX.075-631-7348
075-631-7370



噛む、
笑う、
生きる、
を支える。

しっかり噛んでおいしく食べる、自分らしい
素敵な笑顔で思いっきり笑いあう、毎日を心から
楽しみきいさと過ごす。
歯周病などの歯科疾患が全身の健康にも影響を
及ぼすことが知られるようになった近年、人が豊かな
生活を送っていくためには、歯とお口の中を健康に
保つことが欠かせません。
松風は、創立当初から現在にいたるまで、治療ニーズに
合った歯科材料や機器を開発することで歯科医療に
貢献し、世界中の人たちの幸せな日常を支えてきました。
次の100年も、私たち松風は歯科器材の総合メーカー
として、より一層世界の歯科医療に貢献していくことを
心に誓い、挑戦を続けてまいります。人々の、噛む、笑う、
生きる、を支えるために。



世界の歯科医療に貢献する
株式会社 松風

松風

検索

スポーツの秋、文化の秋、芸術の秋。

コロナ禍以降、社内での会合やコミュニケーションが減ったという話をよく耳にする。では、部署や世代を超えた人間関係を構築でき、モチベーションやエンゲージメント、ウェルビーイングなどの向上にもつながる部活動やサークル活動は今、どうなっているのだろうか。

一時期はやつたオフィスのフリーアドレスやオープンスペースだけでは構築できない深い絆が築け、企業文化の醸成、交流活性化によるイノベーション創出などが期待でき、定着率が高いとの分析も。

元々京都企業で活発に活躍する部活、サークル活動を紹介します。



たけびし テニス部

イベントもりだくさん 社内の雰囲気作りの源

たけびしのテニス部は、創部50年以上の歴史を持ち、社内でも長く親しまれている部活動。経験の有無を問わず、若手からベテランまで誰でも気軽に参加できる点が特徴です。

部活動は定期練習会や社内大会だけに留まらず、テニス部主催のBBQや懇親会を開くなど、イベントはもりだくさん。多くの社員が参加し、部門を超えたつながりが生まれることで、業務における部門間連携や製品知識の共有、仕事の質向上にもつながっています。

テニス部以外にも、野球部やサッカー部、軽音楽部、バレーボール部、バドミントン部があります。イベントや部活動を楽しむ社員は多く、社内の和気あいあいとした雰囲気づくりの源になっています。

【技術商社】



イシダ ボードゲーム部

戦術的コミュニケーション 大人も子供も熱中

イシダのボードゲーム部は約30人の社員が所属し、社員の家族も混ざり形で子どもから大人までの幅広い世代が戦術的なコミュニケーションに熱中し、活発に活動しています。

部活動を通じて、部署や世代を超えたフレッシュな交流が活性化。多くの仲間ができ、仕事上での些細な困りごとにも気軽に協力してもらえることが増えました。

会社からは活動に応じて助成金の支給があり、会社の保養施設を活動場所に利用できるなど、社員の自主的な活動が手厚くサポートされています。今後は事業拠点を超えて、さらに多くの社員がボードゲーム上で交流できる場になっています。

【計量・包装機器メーカー】



カシフジ 野球部

一球先を想定してプレー 勝利の喜びを共有

私たちカシフジの軟式野球部は京都府軟式野球連盟伏見支部A級に所属し、創部50年以上の歴史を持つチームです。野球経験者から初心者までの幅広い世代が在籍し、限られた練習時間の中で部署を超えて交流を深めています。年間約10試合に出場。楽いの中に厳しさもあり、チームプレーを大切にしながら、勝利の喜びを共有することは、何ものにも代え難い事です。攻守で常に1球先を想定してプレーをする事は、仕事の場での判断力向上に役立ちます。

今後も部活動を通じ、健康維持や職場のコミュニケーション向上に貢献できるよう活動を続けます。

また、本社工場の屋上にはフットサルや野球などが楽しめる運動場が整備されていて、昼休みや就業後に自由に利用することができます。

【歯車加工機メーカー】



アークレイ 健康麻雀サークル

判断力と集中力を養う 真剣勝負とコミュニケーション

4月に発足したアークレイの健康麻雀(マーじゃん)サークル「一気通貫」は、健康麻雀(賭けない・飲まない・吸わない)を通じて部署や役職を超えた交流の場を提供しています。現在のメンバーは47人。定時後に社内食堂や多目的スペースを活用し、和気あいあいと活動中です。麻雀は運だけでなく、判断力や思考力が問われる「頭脳スポーツ」。業務にも通じる冷静な判断力、集中力を養う機会にもなっています。

休日を使った先日の大会には20人が参加し、真剣勝負を通じて互いの理解を深め、社内の新たなコミュニケーション文化を育みました。新しいサークルながら、活気にあふれていて、社内のつながりを強める場として活用しています。

【医療用検査システム・機能性食品素材メーカー】



三洋化成 剣道部

地域交流は刺激で貴重な機会 技術に加えて姿勢と礼節

三洋化成の剣道部は本社敷地内の道場で活動しています。新入社員から管理職、OBまでの14人が所属し、経験者や入社後に始めた人など、剣道歴はさまざまです。稽古は長年ご指導を仰ぐ範士八段(剣道の最高位)の師範のもと、技術だけでなく姿勢と礼節を重んじ、集中力や安全意識の向上、部門横断の対話にも良い影響を受けています。部活で共に汗を流し、互いに高め合う時間から世代や部署を超えた交流が生まれ、業務の連携も円滑になっています。

地域の方々にも活動を解放し、近隣に住む十数人の有志とも一緒に楽しく活動しています。地域交流は部員にとっても刺激で貴重な機会。今後も地域とともに心身の健やかな成長を目指して活動を続けていきます。

【化学メーカー】



宝グループは3つの領域を通して、 世界に笑顔を広げます。

宝グループの2つの事業領域と
2050年に向けた新たな価値創造領域

2050年に向けた新たな領域
「新しい領域で価値を創る」

従来の食と健康という領域を越えて、
食料不足・環境問題などの社会課題の解決に、
バイオテクノロジーによる
新たな価値創造で貢献します。

酒類・日本食料領域
「和酒・日本食を
世界の日常に」

ライフサイエンス産業支援領域
「健康を一人ひとりに」

「タカラ」と聞いたら、
皆さんはお酒をつくる会社だと思われるでしょうか。
間違いではありませんが、
宝グループが本当につくりたいのは「笑顔」。
たくさんの笑顔で、あなたの人生を満たしたいと考えています。

笑顔は人生の宝。
宝グループは人々の豊かな食生活と、
健やかな人生に欠かせない存在となり、
さらにバイオテクノロジーの力で、
フードテック、スマート農業、未利用バイオマス活用など、
既存の事業領域にとどまらない新たな価値を創造して、
世界中に笑顔を広げるための挑戦を続けます。

宝グループは2025年で創立100周年を迎えました

宝ホールディングス株式会社

宝酒造株式会社 / 宝酒造インターナショナル株式会社 / タカラバイオ株式会社

「宝グループ
長期Vision 2050」
詳しくはこちら

